

みなさんの地域で「支えあいマップづくり」はじめませんか！

暮らし安心・地域支え合い推進事業

目 的

高齢者や障害者など援護を必要とする人々が地域で安心して暮らせる地域づくりのため、地域の支え合いの体制の強化を図るコーディネーターを設置し、見守り活動や生活支援ボランティアの育成及びニーズの調整を行い、要援護者一人ひとりの生活を地域全体で支え合う地域社会づくりをめざす。

出水市社会福祉協議会では、地域の福祉力を高めるために「暮らし安心・地域支え合い事業」を展開していきます。

その事業の一環として「**支えあいマップづくり**」に取り組んでいきます。

このマップづくりは、地域の中でどのような要支援者（支援の方が必要な方）が住んでいるか、どのような地域課題があるか等を地図上に落とし込み地域住民同士が情報を把握、共有して、課題解決に向けて話し合う支えあいの地域づくりを表（マップ）にしたものです。

支えあいマップとは

地域の「気になる人（支援を必要と考えられる人）」とその人への住民の関わりをマップ（住宅地図）に落とし込み、支え合い活動の実施状況や支援の欠けている状況を把握し、その地域の取り組み課題を抽出するものです。

このマップづくりは、単に要援護者に印をつけるだけではなく、地域福祉や福祉の実態をマップに浮き上がらせることが目的です。（支えあいマップは、地域福祉課題を抽出する手段となるものです）

今、なぜ「支えあいマップ」が必要か？

地域福祉を進めるには「**公助**」（公的サービス）に加えて「**共助**」（**地域が共に支え合う力**）と「**自助**」（**自分自身が自分を助ける力**）が機能しなければ効果的に進めません。つまり「公助」の福祉だけでは拾いきれない（対応できない）課題が多く発生します。（例；孤立や孤独の問題、日常生活上のゴミ出し買い物不便等々）

こうした課題に対応できるのは、「**住民の支え合い**」（**共助**）です。

マップづくりをはじめましょう！！

地域の公民館等を利用して、自治会長さん、民生委員さん、在宅福祉アドバイザーさんなどのいろいろな情報を元に、「気になる人（支援を必要と考えられる人）」と関わりのある人々の関係を住宅地図に（人々のふれあい、助け合いの姿）記入します。（地図をひろげ、人と人の関係は全て線を引いていきます）

支えあいマップづくりで調べること！！

- 支援が必要な人に誰が関わっているか？（どんな支援？見守り？お手伝い？）
- 近所で助け合いを仕切っているキーパーソン（世話焼きさん）はいますか？
- 支援を必要とする人は、身を守るために自分でどんな努力をしていますか？
- 皆さんが寄り集まる場所はどこですか？（〇〇さん宅、畑など）
- 近所にどんな生活課題がありますか？（高齢化、独居、買い物、交通手段）

「取り組み課題」を整理しましょう！

皆さんからいろいろな情報を一旦整理し、その中から「地域の取り組み課題」を抽出します。そして、さらに支援が必要な人に対して支え合いの方法を見つけましょう。

いつからはじめる？・・・いまでしょ！！

※支えあいマップづくりに関する詳しいことについては

問い合わせ先：出水市社会福祉協議会 本所 事業係
電話63-2140 担当：奈良、片川